

## 韓国「ラムサール条約第 10 回締約国会議 10 周年記念式典」への参加 ～コウノトリ野生復帰の取組み発信～

韓国で 2008 年に開催されたラムサール条約第 10 回締約国会議(COP10)から 10 年  
が経過したことを受け、昌原市チャンウォン(韓国)で記念式典が開催される。同式典では、市長が  
記念講演を行う。

### 1 記念式典の概要

#### (1) 名称

ラムサール条約第 10 回締約国会議 10 周年記念式典

#### (2) 主催

韓国慶尚南道ラムサール環境財団<sup>(※1)</sup>

※1 COP10 を機に設立された韓国の財団法人。慶尚南道キム(金海市)は、2014 年  
3 月に豊岡生まれのコウノトリ(J0051・韓国での愛称は「ポンスニ」)が飛来  
した地域である。同財団は、豊岡市で開催した「第 5 回コウノトリ未来国際  
かいぎ(2014 年 7 月)」でポンスニの様子を報告し、また、金海市で開催され  
た「国際生物多様性の日シンポジウム(2015 年 5 月)」で豊岡市長が講演を行  
うなど、コウノトリの野生復帰の取組みによる交流を行っている。

#### (3) 場所

昌原コンベンションセンター (韓国昌原市)

#### (4) 日時

平成 30 年 10 月 10 日 (水) 午前 10 時 ～正午

#### (5) 記念講演

「コウノトリと共に生きる－豊岡の挑戦－」

### 《参考》

#### ラムサール条約第 10 回締約国会議 (COP10)

平成 20 年 10 月 28 日から 11 月 4 日に韓国昌原市で開催。COP10 では、「湿地シス  
テムとしての水田における生物多様性の向上<sup>(※2)</sup>」が決議され、水田が湿地であること  
が認められた(通称：水田決議)。これにより、豊岡市でラムサール条約へ登録する動き  
が加速し、COP11 において「円山川下流域・周辺水田」がラムサール条約に登録された。

※2 日本と韓国が共同提案した決議。水田が水鳥をはじめとした様々な生物の生息地  
として重要であることを認識し、生物相の調査を進め、情報交換を行うこと。また、  
生物多様性を高めるような農法や水管理方法を特定し、実践することを締約国に求  
めるもの。

[問合せ] 豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017